

タニヘゴ

Dryopteris tokyoensis (Matsum.ex Makino) C.Chr.

オシダ科

石川県カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー 該当なし

選定理由

生育地が稀で個体数が少ない。(現況:RO)

形態

根茎は太く直立する。葉は大形の単羽状複生で直立して叢生する。下部の羽片葉著しく短縮する。

国内分布

北海道、本州、四国、九州。

県内分布

内浦区、口能登区、南加賀区。

生態など

夏緑性の地表植物である。耐陽地性で寒い地方の明るい湿地に群生する。繁殖は孢子による。

生育環境

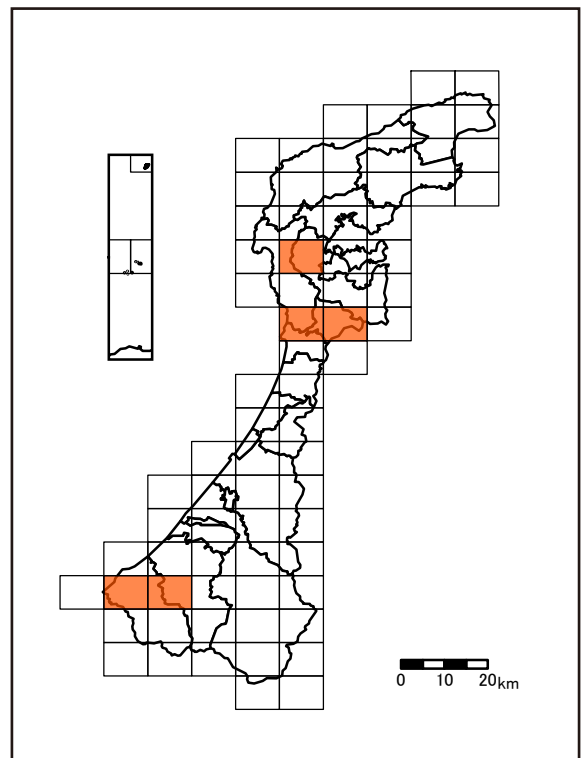
比較的明るい湿地に生育する。

危険要因

森林伐採、河川開発、動物食害、自然遷移、産地局限、その他(土砂流入)。



林 二良・2007年8月26日・南加賀



県内の分布